

取扱説明書

φ40エアキャップセット

BAC40PR



この説明書には、重要な警告や注意事項が記載されています。
本機を使用される前に、必ずよく読んでください。

この説明書は、製品を廃棄するまでは、必ずお手元に保管し、
紛失・汚損した場合は、販売店または当社までご請求ください。

はじめに

このたびは、当社製品φ40 エアキャップセット〈BAC40PR〉をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品を常に最適な状態でお使いいただくために、ご使用される前に、この取扱説明書を必ずよくお読みください。特に仕様に定められた諸項目を十分ご理解され、その正しい使用方法に従った使い方をさせていただきますようお願い申し上げます。

この製品は、塗装機と合わせて使用します。塗装機の取扱説明書も必ずよくお読みください。

なお、ご不明な点がございましたら「型式」「製造番号」をご確認の上、当社の営業担当または裏表紙の連絡先にお問い合わせください。



この取扱説明書はすぐに確認できる場所に大切に保管してください。

目次

1	安全に正しくご使用いただくために	1
2	全体構成	2
3	着脱方法	5
4	専用工具	11
5	処理記録	12
6	保証書	13

安全に正しくご使用いただくために

本取扱説明書の内容を良くご理解頂き、必ず取扱方法を遵守してください。

この取扱説明に拠らないで使用すると、**人体の傷害や器物の損壊、火災事故**を招く恐れがあります。

以下に述べる安全についての注意事項は、当社製品のご使用に際し最小限の基本的な安全対策と考えてください。

●安全に関する危険レベルを次の2段階に区分して表示してあります。



警告

死亡または重大な傷害を招く可能性のある危険



注意

軽傷・中程度の傷害を負うか、物理的損壊のみを招く可能性のある危険

●その他の重要事項は、次のように表示してあります。

注記

機器の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくために守っていただきたい内容

なお、国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則、またそれぞれの企業や事業部で規則、規定として守るべき事項に従ってください。

警告

必ず常に換気装置を作動させてください。

これらを怠ると、室内に可燃性ガスが滞留し、静電気などの火花によって重大な火災・爆発事故を引き起こす恐れがあります。また、溶剤蒸気の吸引による急性中毒など、人体へ深刻な健康被害を及ぼす原因となります。

警告

修理・メンテナンスを行う際は、必ず機器を可燃性ガス等のない安全な場所（非防爆エリア）へ移動させてから行ってください。

危険な場所（防爆エリア）内での作業は、工具の接触火花や作業者の衣服・人体からの静電気（帯電）、露出した内部回路などが点火源となり、爆発性雰囲気に着火して爆発や火災を招く危険があります。

- 塗装機先端に取り付け、塗料を回転による遠心力で霧化及び高電圧を塗料に印加する働きを持つベルカップと、独立制御された 2 系統のシェーブエア噴出によってスプレイパターンを形成し、ベルカップで微粒化された塗料粒子を効率よく被塗物に塗着させるバリアブルノズルで構成された、塗装を行う周辺機器です。
- ベルカップはカップ部とインナ部に分割可能な 2 ピース構造を採用し、ベルカップ内部洗浄を容易に行えます。
- ベルカップ外面自動洗浄を行う、ベルカップ外洗浄ノズルを採用しています。

表 2-1 構成リスト

ベルカップ・エアキャップセット		エアキャップセット		ベルカップ				
型式	品番	品番	仕様	径	仕様	センタープラグ (c)	前方排気 (Ex)	品番
BAC40PR	15GH	15GE	標準吐出	φ40	標準吐出タイプ	○	○	15GC
	15GH-1				長孔タイプ			15GC-1

標準吐出タイプ (15GC)



長孔タイプ (15GC-1)



表 2-2 適応パターン幅

型式	パターン幅(mm)				
	100	200	300	400	500
BAC40PR	■				

※適応パターン幅は塗装条件によって異なります。

表 2-3 ベル本体オプション品表

名称	用途／構成	品番
センタープラグ着脱治具	センタープラグの着脱	35FF

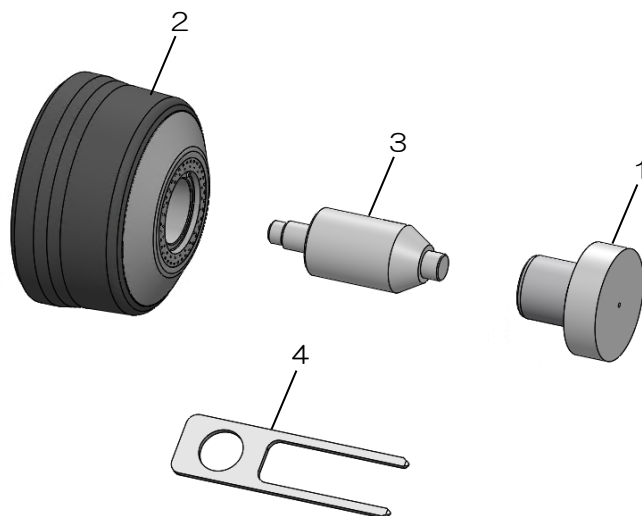
※センタープラグ着脱治具の詳細構成は P.11 を参照願います。

φ 40ベルカップ・エアキャップセット

15GH

φ 40ベルカップ・エアキャップセット(長孔タイプ)

15GH-1



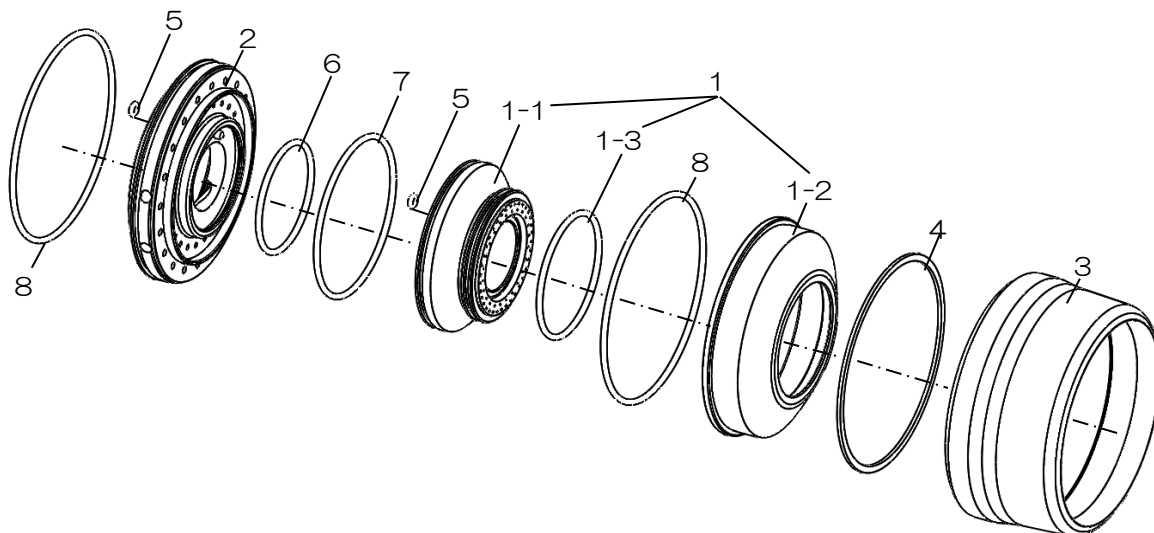
φ 40ベルカップ・エアキャップセット

番号	部品番号	品 名	個数	備考
1	15GC	φ40 ベルカップ	1	長孔タイプ
	15GC-1	φ40 ベルカップ		
2	15GE	φ40 エアキャップセット	1	

番号	部品番号	品 名	個数	備考
3	15F3-211	治具	1	
4	15F3-012	板スパナ	1	

φ 40エアキャップセット

15GE



φ 40エアキャップセット

番号	部品番号	品 名	個数	備考
1	15GE-001	ノズル	1	
1-1	15GE-001-1	エアノズル	1	
1-2	15GE-001-2	アウト	1	
1-3	130-9050	Oリング	1	S50
2	15GE-002	パッフル	1	
3	15GE-003	キャップ	1	

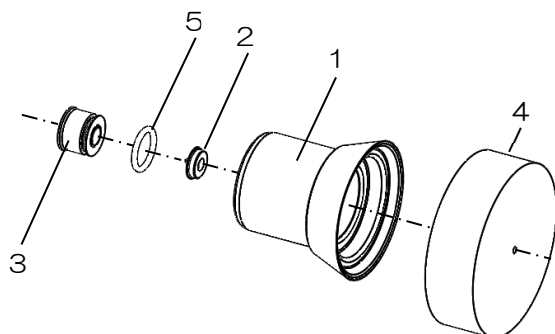
番号	部品番号	品 名	個数	備考
4	15F3-004	リング	1	
5	130-9003	Oリング	2	S3
6	130-9044	Oリング	1	S44
7	130-9065	Oリング	1	S65
8	130-9085	Oリング	2	S85

φ 40ベルカップ

15GC

φ 40ベルカップ(長孔タイプ)

15GC-1



φ 40ベルカップ

番号	部品番号	品 名	個数	備考
1	15GC-001	カップ	1	
	15GC-101	カップ		長孔タイプ
2	15GC-002	センタープラグ	1	

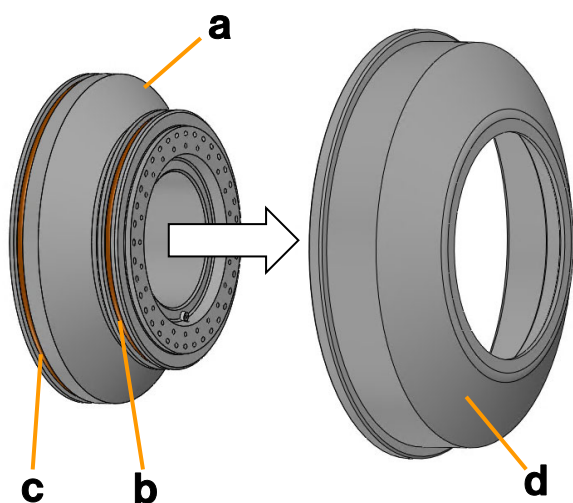
番号	部品番号	品 名	個数	備考
3	15F4-102	インナ	1	
4	15F4-003	パッド	1	
5	130-9010	Oリング	1	S10

⚠ 注意

ベルカップ取り扱い時の注意点

ベルカップの外周エッジ部は刃物のように鋭利です。装着や清掃のために取り扱う際は、切傷事故を防止するため、必ず付属の保護パッドを装着してください。
保護パッドを装着しない状態での取り扱いは絶対に行わないでください。

(1) エアキャップ取り付け方法



1. エアノズル・アウト組み付け

エアノズルにOリングが2つ付いている事を確認してください。

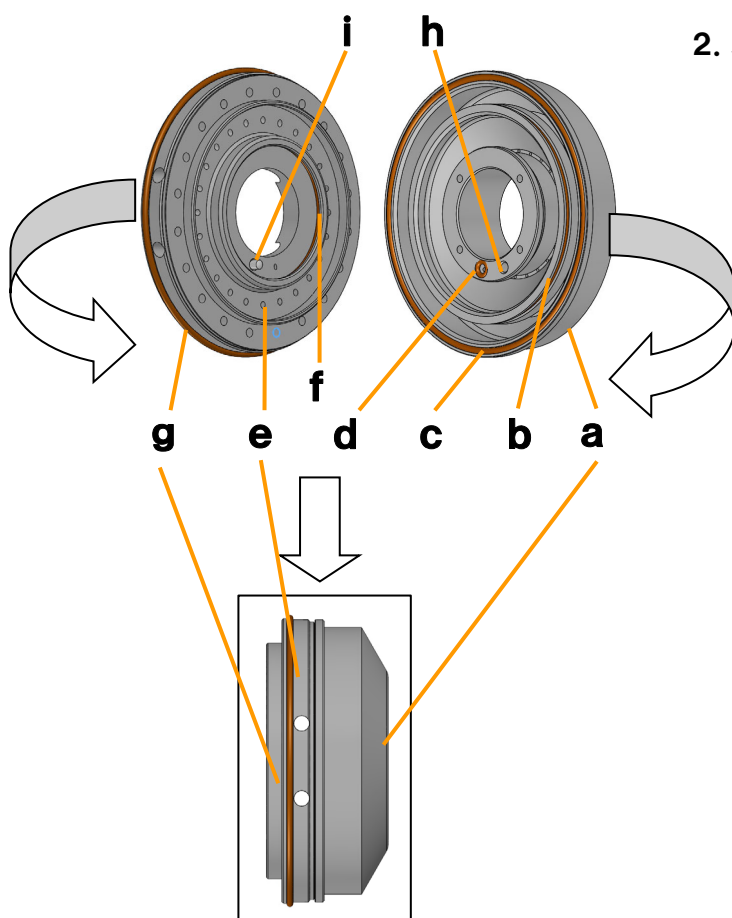
a : エアノズル (15GE-001-1)

b : Oリング (130-9044)

c : Oリング (130-9065)

アウトにエアノズルを挿入してください。

d : アウト (15GE-001-2)



ノズル・バッフルセット

2. ノズル・バッフル組み付け

ノズルにOリングが3つ付いている事を確認してください。

a : ノズル (15GE-001)

b : Oリング (130-9065)

c : Oリング (130-9085)

d : Oリング (130-9003)

バッフルにOリングが2つ付いている事を確認してください。

e : バッフル (15GE-002)

f : Oリング (130-9044)

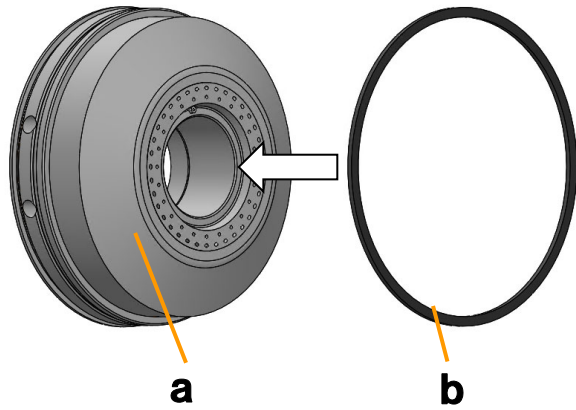
g : Oリング (130-9085)

ノズルをバッフルに組み付ける際は、位置決めピンと穴が一致するようにバッフルに挿入してください。

h : 位置決め穴 (ノズル)

i : 位置決めピン (バッフル)

3. リング装着

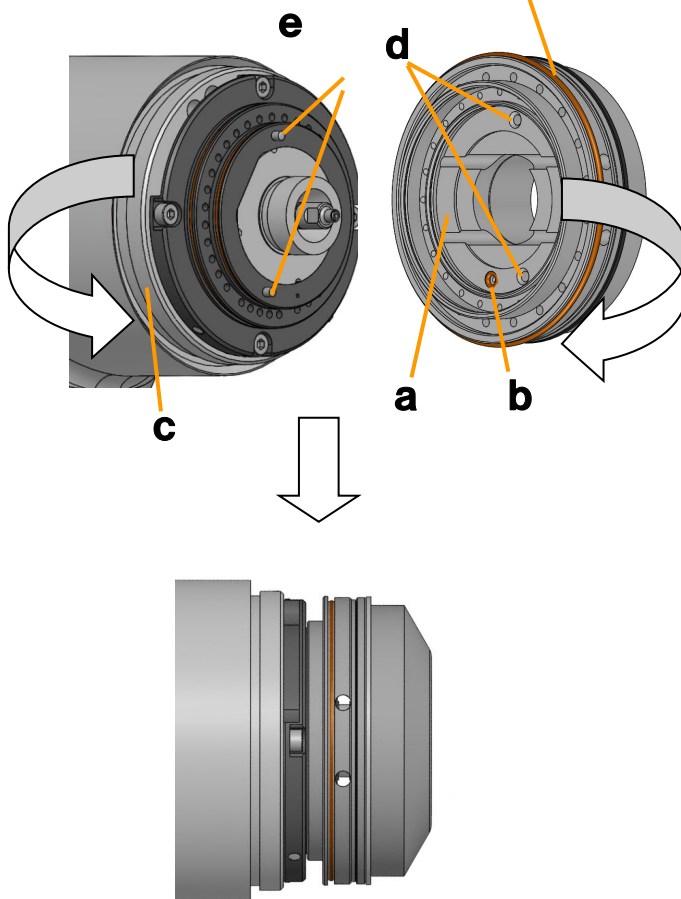


ノズル・バッフルセットにリングを装着してください。

a: ノズル・バッフルセット

b: リング (15F3-004)

4. ノズル・バッフルセット組み付け



ノズル・バッフルセット内側にOリングが付いている事を確認してください。

a: ノズル・バッフルセット

b: Oリング (130-9003)

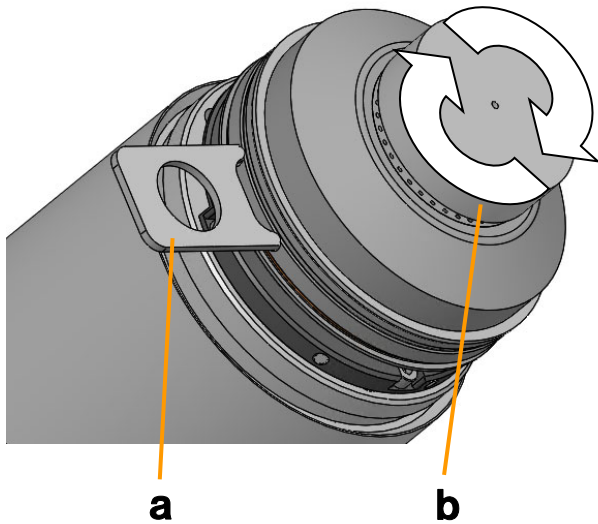
2箇所的位置決めピンが一致するように挿入し、Oリングが見えなくなるまで押し込んでください。

c: ガイド (14EF-003)

d: 位置決め穴 (ノズル・バッフルセット)

e: 位置決めピン (ガイド)

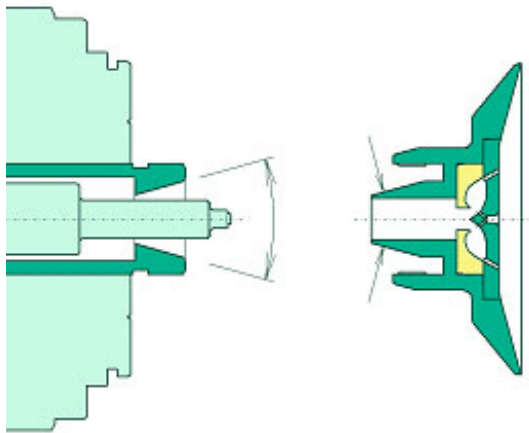
5. ベルカップ装着



付属工具の板スパナをバッフル側面工具穴に挿入し、エアスピンドルシャフトを固定します。パッドを装着したベルカップをねじ込みます。この際、ベルカップ・エアスピンドルテーパ部に塗料の付着が無い事を確認してください。

a：板スパナ（15F3-O12）

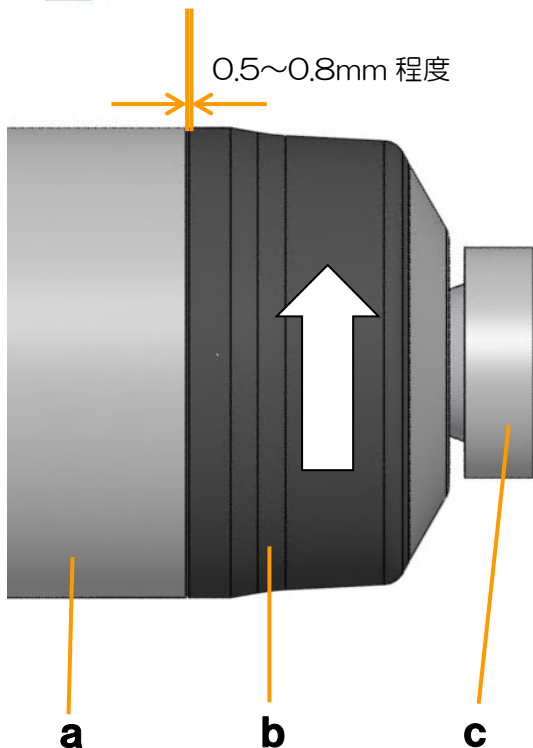
b：パッド（15F4-003）



⚠ 注意

テーパ部に塗料汚れが付着したままベルカップを装着して使用すると、回転バランスが崩れ、これをエアスピンドルで高速回転させるとエアスピンドルの破損につながります。

6. キャップ装着



板スパナを取り外し、キャップをねじ込みます。ガン・ボディ・キャップ間の隙間が左記図程度となるよう締め込んでください。

パッドを取り外し、取り付け完了です。

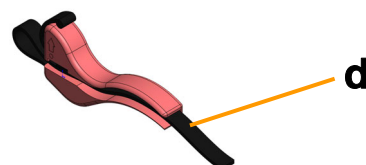
着脱が固い場合、Oリングへのワセリン塗布、及びベルトレンチをご使用ください。

a：ボディ（14AO-001）

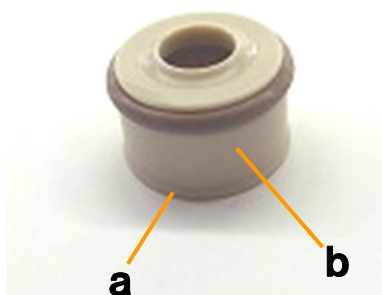
b：キャップ（15GE-003）

c：パッド（15F4-003）

d：ベルトレンチ（337-0034）



(2) ベルカップ・インナ取り付け方法

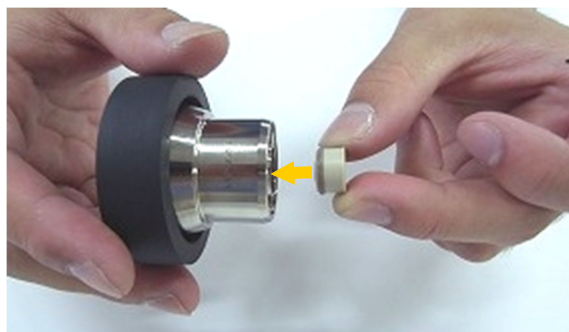


1. インナにOリング装着

インナにOリングが1つ付いている事を確認してください。

a：インナ（15F4-102）

b：Oリング（130-9010）

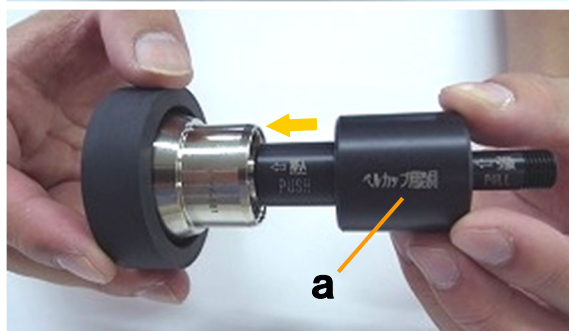


2-1. インナ装着

カップにインナを挿入してください

付属工具のカップ工具・押込／PUSH 側を使用し、位置規制がかかる所定の位置まで押し込んでください。

a：治具（15F3-211）



2-2. インナ取り外し

付属工具のカップ工具・引抜／PULL 側を使用し、インナにねじ込み引き抜いてください。カップ内を清掃する際は、柔らかい筆などを使用し洗浄してください。



⚠ 注意

塗料固着により着脱が困難な場合は、無理な脱着（破損の原因）を避け、ベルカップをシンナーに浸漬して固着を緩和させてから作業を行ってください。

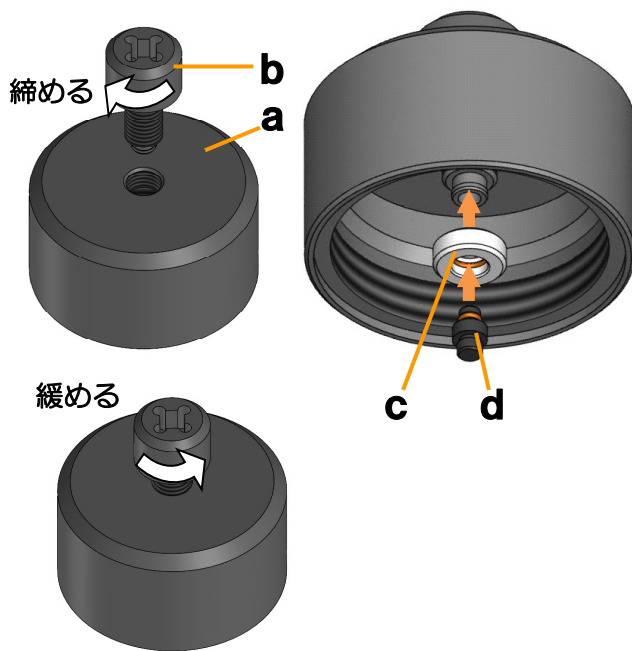
⚠ 注意

落下・衝突時のベルカップ交換

ベルカップを落下させたり、物に衝突させたりした場合は、必ず新品に交換してください。わずかな変形でも回転バランスが崩れ、そのまま高速回転させると、エアスピンドルの破損や重大な事故につながる恐れがあります。

(3) センタープラグ取り外し方法

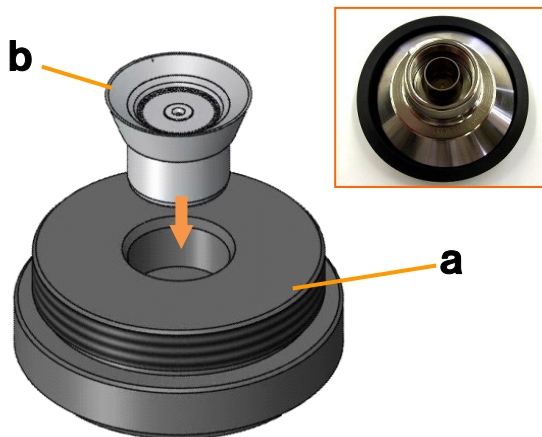
1. 取り外し準備



前ブロックにハンドルをねじ込み後、
反対側に飛び出したハンドルに
スペーサ、ポンチの順に押し込みます。

- a : 前ブロック (35FF-002)
- b : ハンドル (35FF-003)
- c : スペーサ (35FF-004)
- d : ポンチ (35FF-005)

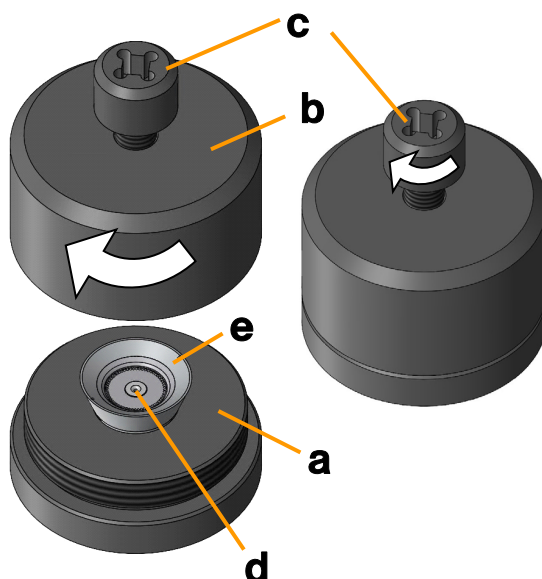
スペーサ、ポンチ取り付け後、ハンドルを緩めます。



2. カップ取り付け

ベルカップ内からインナが取り外されていること
を確認し、後ブロックにベルカップを押し込み
取り付けます。

- a : 後ブロック (35FF-001)
- b : ベルカップ



3. センタープラグ取り外し

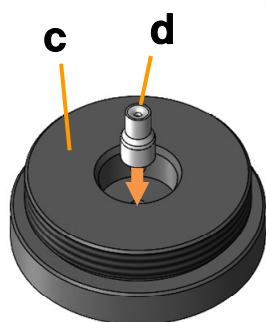
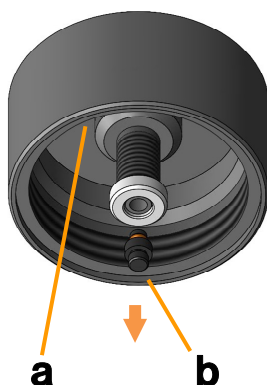
後ブロックに各部品を装着した前ブロックを
ねじ込み固定します。

- a : 後ブロック (35FF-001)
- b : 前ブロック (35FF-002)

ハンドルをねじ込むことで、センタープラグが
ベルカップより取り外されます。

- c : ハンドル (35FF-003)
- d : センタープラグ (15GC-002)
- e : ベルカップ

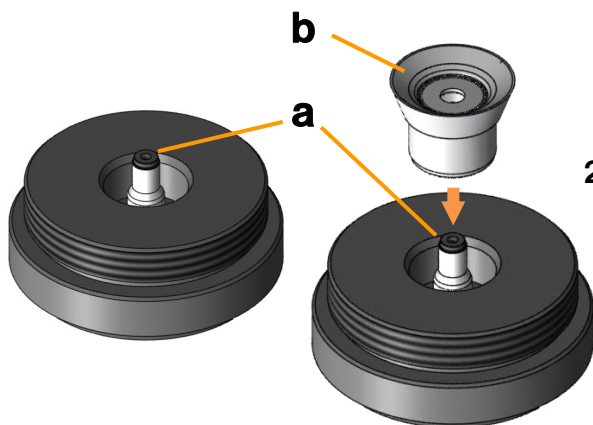
(4) センタープラグ取り付け方法



1. 取り付け準備

前ブロックからポンチを引き抜きます。
後ブロックにセンタープラグ圧入治具を
押し込みます。

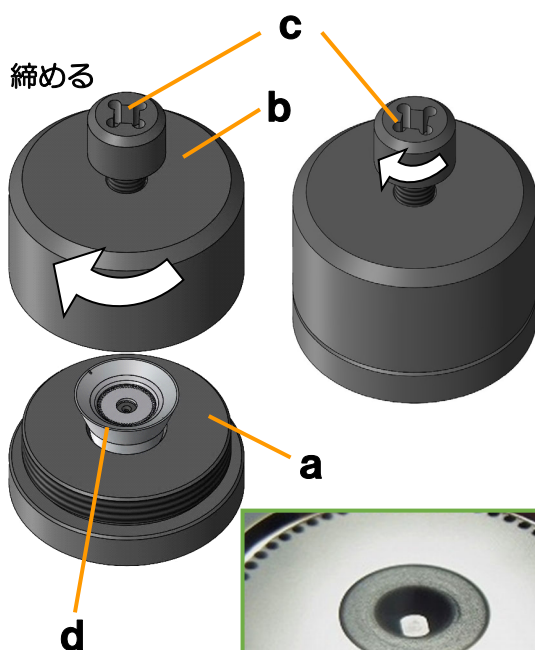
- a : 前ブロック (35FF-002)
- b : ポンチ (35FF-005)
- c : 後ブロック (35FF-001)
- d : センタープラグ圧入治具 (35FF-006)



2. ベルカップ取り付け

左図のようにセンタープラグをセットし、
ベルカップを軽く押し込みます。

- a : センタープラグ (15GC-002)
- b : ベルカップ



3. センタープラグ取り付け

後ブロックにポンチを取り外した前ブロックを
ねじ込み固定します。

- a : 後ブロック (35FF-001)
- b : 前ブロック (35FF-002)

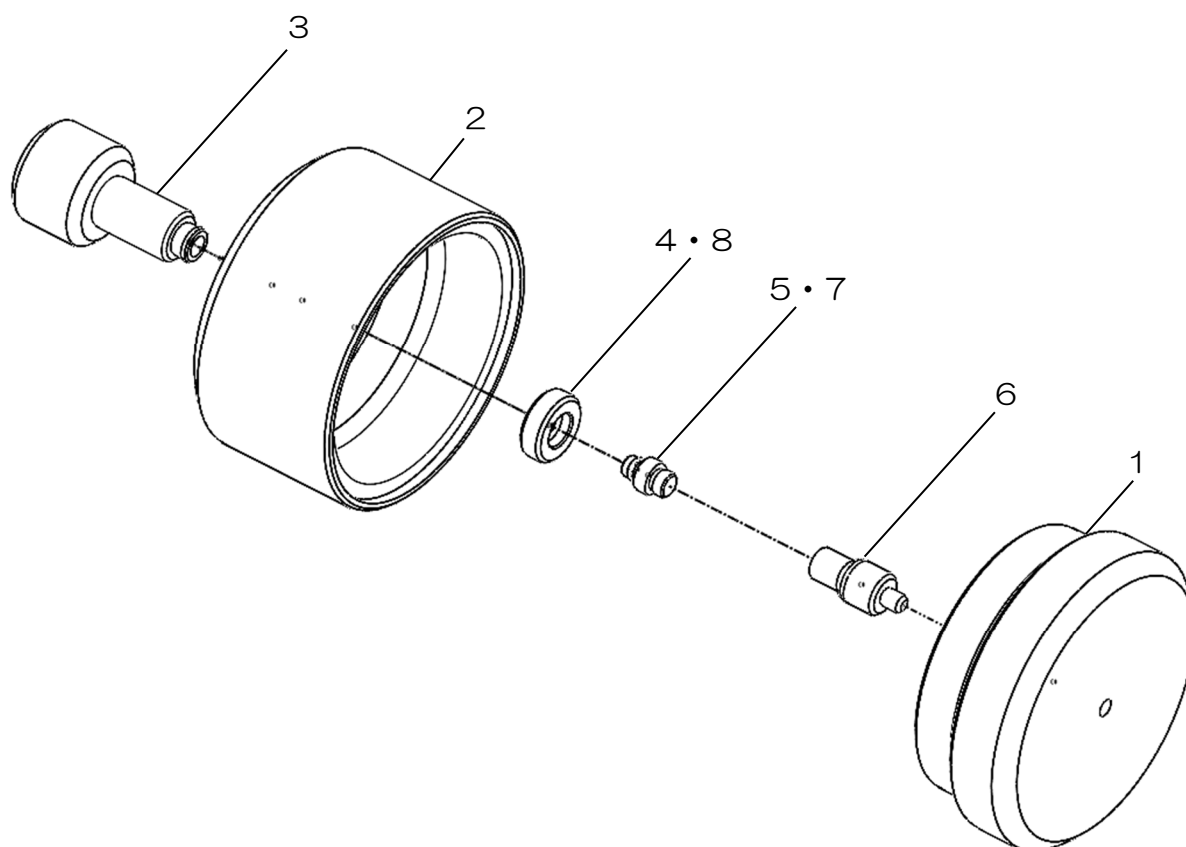
ハンドルをねじ込むことで、センタープラグが
ベルカップに装着されます。

- c : ハンドル (35FF-003)
- d : ベルカップ

ベルカップとセンタープラグ前面で
段差が無いか確認の上、ご使用ください。

センタープラグ脱着治具

35FF



センタープラグ脱着治具 35FF

番号	部品番号	品名	個数	備考
1	35FF-001	後ブロック	1	
2	35FF-002	前ブロック	1	
3	35FF-003	ハンドル	1	
4	35FF-004	スペーサ	1	

番号	部品番号	品名	個数	備考
5	35FF-005	ポンチ	1	
6	35FF-006	センタープラグ圧入治具	1	
7	130-9004	Oリング	1	
8	130-9010	Oリング	1	

処理記録

部品の取替え・分解掃除・故障不具合・修理などの処理をされたときの履歴管理としてお使いください。

[illegible]

ご注意：本機の形状および仕様は改良等都合により予告なく変更することがあります。

【保証内容について】

お買い上げ日から**6か月**、万が一故障が発生した場合、本保証書に記載の規定により無償修理いたします。

●保証規定

1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に基づいて、お客様が正常な状態のもとでご使用になり、万一保証期間内に故障した場合は、販売店、または当社営業所に修理をご依頼ください。
当社で点検・調査した後、その故障が材質・製造上の欠陥であると判明した場合は、無償にて故障箇所の修理または取り替えをさせていただきます。
なお、離島および離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けることがあります。
2. 本製品の故障またはその使用によって生じた本製品以外に及ぼす損害については、当社はその責任を負わないものとします。
3. 次のような場合には、保証期間中でも有償修理になります。
 - (1) 保証書のご提示がない場合。
 - (2) お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
 - (3) お客様による改造、修理に起因する故障および損傷。
 - (4) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
 - (5) 本製品に接続している当社以外の機器および交換した消耗品に起因する故障および損傷。
 - (6) 消耗品の交換・修理。
 - (7) 純正部品以外の部品が使用されている場合。
4. ご不明な場合は、お買い上げの販売店または当社営業所にご相談下さい。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管ください。

この保証書によってお客様の法律上の権利を制約するものではありません。

保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は販売店、または当社営業所にお問い合わせください。

-
- 本機械を譲渡するときは、必ず機械に本書を添付して次の所有者に渡してください。
 - 本機械は、日本国内の法規に基づき製作されています。
本機械を日本国以外で使用するときは、その国の安全規格を遵守する必要があります。
-

令和 8 年 9 月 1 4 日 第 1 版

旭サナック株式会社

本社
愛知県尾張旭市旭前町新田洞 5050 番地 〒488-0852
TEL 0561-53-1213 FAX 0561-54-8847

URL : www.sunac.co.jp
E-mail : sunac_c@sunac.co.jp



営業所一覧

令和 8 年 9 月 1 4 日 第 1 版